2022年7月発行

intertek news

Vol.77

ISO関連季刊情報誌（年4回発行）

CONTENTS

01 ご満足いただけるサービス提供に向けて

02 03 特集 ～77号記念～ お客様紹介ー7のお客様
- 三光産業株式会社
- 屏風浦工業株式会社
- 株式会社山本建設

04 News&Topics
- 電気・電子部門サービス紹介：IATF 16949解説ウェビナー
- 関西地区お客様交流会開催
- 審査員会議
- Q&A

05 審査の現場から
- お客様紹介（有限会社仙龍電設）
- 連載よみもの「審査員の心理」（環境編）「コミュニケーション」

06 連載よみもの
- 審査員リレーエッセイ「健康管理は散歩」（審査員　吉田 康夫）
- 環境とISO14001「ビジネスと人権」

07 お客様からのお便り
- 「北海道でクリーンエネルギーの未来を創る」（株式会社ヒロエナジー）
- 「最新鋭製造ラインから、硬くて透明、おいしい氷」（本田冷蔵株式会社）

08 研修コースのご案内
- ちょっといっぷく
- 研修コース案内
- 受講生からのお便り（日本ボールドウィン株式会社）

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

https://ba.intertek-jpn.com/

ご満足いただける サービス提供に向けて

営業部 カスタマーマネジメント マネージャー　池森（いけもり） 弘子（ひろこ）

平素より弊社の認証サービスをご利用いただき、有難うございます。営業部カスタマーマネジメントチームの池森でございます。

営業部カスタマーマネジメントチームでは、主にISO 9001／14001／45001／27001／22000／FSSC 22000を認証取得いただいているお客様に対し、ご登録内容の確認や、認証範囲の変更に関する各種お手続き、審査時間の算定、お見積り、契約書の作成・発送を担当しており、普段から多くのお客様と電話やメール等でやり取りさせていただいております。

私たちの業務は、いわゆる「営業部内でのオフィスワーク」に当たりますが、日本でのデジタル化の流れがコロナ禍で一気に加速したこともあり、弊社でもここ数年の社内の電子化に伴い、業務が少しずつ便利になってきていることを実感しております。

例えば、私たちのチームでは、押印のための出社を廃止するため、見積書は電子印を使用し、契約書は電子契約システム「ドキュサイン」を昨年から導入いたしました。また、社内のオンライン会議やMicrosoft Teamsを使ったチャットでのやり取り等も格段に増え、時間の短縮・経費削減・業務の効率化を大いに実現しています。

これらは、新型コロナウイルス感染症拡大前には考えられなかった在宅勤務が弊社でも進み、それに伴う業務の見直しに因るものとなりますが、インフラ整備により在宅勤務でも変わりなく業務を行うことができ、コロナ対策としてだけでなく、社内の働き方改革の一環としても弊社では積極的に推進されております。

電子化による業務の効率化は、作業のスピードアップやお客様への迅速な対応にも繋がっていると思いますが、今後は電子化以外の面でも、日々の業務の中での問題点を探りながら、良い点は残し、改善すべきところは改善していくとしたPDCAサイクルをしっかり繰り返すことで、業務の精度をさらに高めてまいります。

そして、数多ある審査機関の中から、弊社をお選びいただいたすべてのお客様にとって、ご満足いただけるサービス提供に向けて、誠心誠意努めてまいりますので、引き続きインターテック・サーティフィケーションをご愛顧いただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。

～77号記念～

7のお客様

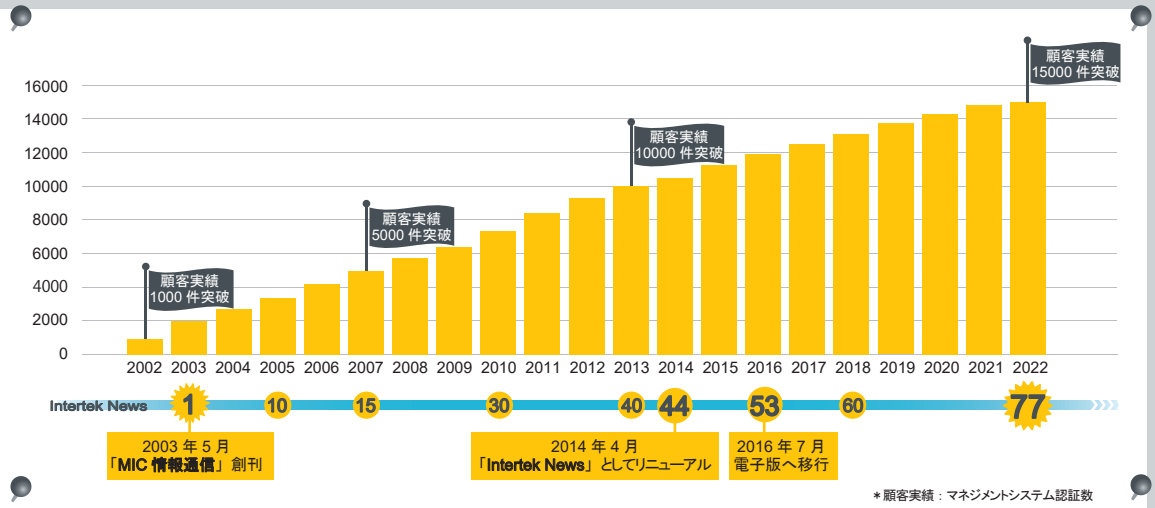
〔お客様取材〕
審査員　美濃 英雄

特集

お客様向けに発行しております本誌「Intertek News」は、おかげさまで今号で**77号**となりました。不定期発行でスタートし、創刊翌年から年4回の定期発行となりましたが、これまでご愛顧いただきましたお客様に、あらためて感謝申し上げます。

今号は、ラッキーセブンの77号を記念して、“7”にちなんだお客様をご紹介いたします。本誌についても少し振り返っておりますので、合わせてご参照ください。気持ちを新たに、皆様へお役に立つ情報提供に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。（編集部）

Intertek News について



発行累計（1～76 号：発送＆配信累計）
約 **550,000**

誌面でご紹介したお客様（1～77 号）
362 組織
ご協力いただきどうもありがとうございました！

77　三光産業株式会社　様

お客様番号：00000077

- 所在地　：埼玉県入間郡越生町
- 認証規格：ISO 9001（2000 年～）

本社

三光産業株式会社様は、埼玉県入間郡越生町で昭和19年創業、2000年にISO9001を認証取得されています。電源装置や半導体製造装置、また駅ホームの安全確保のためのホーム柵などの製品を、お客様のニーズにあわせ精密板金設計・加工・溶接・機械加工・組立を単品から完成品まで、一貫生産で行うスマートファクトリーです。

審査では、顧客への対応力や提案力が、顧客から高く評価されていることがわかりました。経営方針、品質方針を具体的に実現するため幹部役職者と毎日、改善進捗を確認する「管理会議」が行われています。本年度からはさらにクラウドシステム化によるPDCAの見える化を実現される計画です。ヒューマンエラー防止活動の一環として、製造現場での「作業実演」による手順確認等を行い、技術伝承教育を実践しておられます。営業のプロセスでは、“顧客との打ち合わせ”から“見積提出”まで、記録を残しながらミスを起こさない取組みが、行われています。これからも、お客様の要求に応えながら、試作から量産まで、品質をおとさずスピード感を持って、お客様に満足して頂ける製品の提供ができるよう、継続した活動推進に、積極的に取り組まれています。

さまざまな業務に従事する社員の方々

http://www.sanko-sangyo.jp/

777 屏風浦工業株式会社 様

お客様番号：00000777

- 所在地　：神奈川県綾瀬市深谷中
- 認証規格：ISO 9001（2003 年～）

本社

屏風浦工業株式会社様は、昭和34年横浜市で創業（昭和55年綾瀬市に移転）され、2003年にISO9001を認証取得されています。

同社では、プレス金型の設計から、製作、製品の製造、検査まで、一貫して自社で実施されており、試作メーカーとして、様々な製造メーカーから新型車開発における試作鈑金・金型製作などの仕事を受託され、提案型企業として高い評価を受けられています。「一般材から高ハイテン、アルミ、これまでの自動車車体製作で培った様々な経験と知識を基に、技術をお客様へ提供し、技術集団による新車開発のお手伝い、競技用車両にまでおよぶノウハウの充実により、1個のモノ造りから月産1000台ほどの小量産にも対応する生産能力が弊社の強み」とのことで、徹底的なこだわりをもって、モノ造りを進められています。

また、同社では、ISOの考えを基に各部門の業務手順やルール、使用する帳票等を自社の言葉で文書化した赤本を作成して各部門で使用されており、ISOと業務プロセスを融合させている素晴らしい事例です。ISO9001の認証取得以来、品質・顧客満足の向上に努められ、さらに現在は、次世代を担う若手社員の教育を含め、人材育成にも力を入れられています。

「これからも、受注型企業から提案型企業へ、試作から量産まで幅広く、グループの力を結集させた創業以来のノウハウの提示によりお客様のニーズに応え、お客様と共に未来を創っていきたいと考えております」とのお言葉通り、さらなる飛躍を期待します。

三次元ファイバーレーザー加工機

整理された工場

http://www.byoubugaura-kogyo.co.jp/

7777 株式会社山本建設 様

お客様番号：00007777

- 所在地　：高知県幡多郡大月町
- 認証規格：ISO 9001（2011 年～）、ISO 14001（2021 年～）

本社

株式会社山本建設様は、高知県幡多郡大月町、高知県中心部から、東南に遠く離れた場所で、昭和34年に創業されています。2011年にISO9001、2021年にISO14001を認証取得されました。

審査員からは、「地元との良いコミュニケーションがとられており、クレームの防止につながっています。民間物件ではリピートの顧客を多く有しておられ、これまでの高い顧客満足の実現が次の受注につながる良い循環を生んでいます」と、評価されています。

審査時、品質目標の売上予算達成度が、160％でした。アフターサービスを重視され、紹介が増え、現在、地元で、工場、病院、福祉施設など、多数の現場を施工されています。地元のお客様から、他県の現場も依頼され、管理職が1年近く出張されるなど、広域的に業務を展開されています。

新しい人材を確保され、今後ますます、地域のインフラ整備の要としての役割が求められています。

施工現場風景

http://yamaken.chu.jp/

電気・電子部門サービス紹介 IATF 16949 解説ウェビナー

インターテックグループでは、弊社ISO認証部門の他、各部門で様々なサービスを提供しております。その中のひとつ、電気・電子部門(インターテック ジャパン株式会社)が提供しているサービスについてご紹介いたします。

電気・電子部門では、自動車産業向けの品質マネジメントシステム規格「IATF 16949」で求められる試験所について、校正機関の観点から解説するウェビナーを定期的に開催しています。ウェビナーでは、IATF 16949の概要を始め、内部試験所・外部試験所に対する要求事項、試験所として求められるISO/IEC 17025について解説いたします。

IATF 16949は、自動車産業向けの品質マネジメントシステム規格です。自動車関連製品の設計・開発・製造・組立およびサービスの品質マネジメントシステム要求事項を定めており、不具合予防やばらつきと無駄の削減をし、継続的な改善をもたらします。

ウェビナーの詳細とお申込みは、電気・電子部門の以下のリンクをご覧ください。

http://ew.intertek-jpn.com/seminar/iatf16949_webinar/

関西地区お客様交流会開催

2020年2月開催を最後に、コロナ禍で長期中断しておりました関西地区お客様交流会が、5月、オンライン(Zoom)にて約2年ぶりに開催されました。第138回となる今回のテーマは「ISO担当者のお悩み相談室」。株式会社イオスコンサルティング代表取締役 角子裕司氏を講師に迎え、ISO運用上で、担当者(事務局)が抱える様々なお悩みのうち、(1)「現場スタッフのISO理解度や関心が乏しい」、(2)「SDGsへの取組みをISO活動と連動させたい」という2つの点に絞り、コンサルタントの視点からのアドバイスを中心に講演いただきました。

初のオンライン開催で、1社1アカウントに限定させていただきましたが、60社以上のお客様にご参加いただきました。今回、質疑応答は講演後のアンケート内で受付け、また、異業種交流を目的に従来行っていた交流会後の懇親会もありませんでしたが、開催後のアンケートでは高評価を含め、多くのご意見、ご質問もいただきました。ご質問につきましては、各担当者・講師より、適宜対応を行っております。ご参加いただいたお客様、どうもありがとうございました。

審査員会議

弊社では、「有益な審査の実現に向けた協議、技術力向上、感度調整」の目的で、定期的に審査員会議を行っています。コロナ禍の影響で、しばらくリモート開催となっていましたが、感染者数減少に伴い、本年4月より、実地開催が復活しました。感染リスクも考慮し、今回は、QMS審査員を対象にエリア別にて、4月に北陸、5月に中四国、6月に関西エリアで実施しました。(都合により、対象エリア以外の会議へのオンライン参加や、後日録画動画の視聴も可能)

会議内でのグループワークでは、以下のテーマを主とした協議・発表、意見交換も積極的に行われました。

①システム、パフォーマンスが向上する有益な審査について

②「組織に影響を及ぼす重要性、変更」の考慮審査について

弊社では、こういった審査員会議などを通して、お客様に付加価値を感じていただける審査ができるよう、日々取り組んでおります。

Q&A

お客様からいただきましたご質問についてご紹介いたします。

Question

ベテランの内部監査員が定年退職され、新しく内部監査員に任命されました。次回から内部監査をするように言われましたが、前回の監査報告書を見たら難しそうでした。内部監査報告書の書き方でのポイントなどはありますでしょうか？

Answer

内部監査の参考になる規格として、ISO19011を、ご存じの方もおられると思います。ISO19011(マネジメントシステム監査のための指針)は、監査の原則、監査プログラムのマネジメント、マネジメントシステム(MS)監査の実施など、MS監査のあらゆる側面に関する手引き、また、MS監査に関わる要員の力量評価のための手引きを提供しているガイドライン規格です。内部監査実施の一連の流れも記載されており、弊社内部監査員養成コースでも参照しています。監査報告書について記載された項目を以下に抜粋します。報告書に含めるべき内容についても書かれていますので、理解の一助になるかと思います。

6. 監査の実施

6.5.1 監査報告書の作成

また、IRCA(マネジメントシステム審査員/監査員の国際登録機関)発行の技術レポートでは、わかりやすい監査報告書の書き方として、

①内部監査報告書は、内部監査に関わっていない人が見ても、わかりやすいように書くこと。

②改善点などの指摘事項は、監査基準(規格・法規制要求事項、手順、規則など)を明示すること。

③上記②に対して、現状(問題点、改善点など)を、具体的に記述すること。

内部監査とは、改善を推し進めることです。被監査者は、所見が挙げられることを嫌がるかもしれませんが、実際に何をすることができるかを示すことは改善につながることになりますので、ご理解・感謝いただけるようになると思います。

(参照:IRCAジャパン(国際審査員登録機構)サイト内専門情報「技術/規格」内『わかりやすい監査報告書を作成するには』ーhttps://japan.irca.org/media/category02/writing-clear-audit-reports)

お客様紹介

有限会社仙龍電設 様

（ISO 9001：2015、ISO 14001：2015認証登録）

〔取材者〕 審査員 **美濃 英雄**
Hideo Mino

本社（神奈川県相模原市）

仙龍電設様は、神奈川県相模原市で、昭和55年創業、平成元年設立の、電気工事業の会社です。2018年にISO9001、ISO14001を認証取得されました。適用人数は3名、少数精鋭の組織です。実際、審査では、同社が、県Aランクで、7年連続、9回の優良工事表彰を受けられていることもわかりました。また、ISOの運用も、従来の書類を活かして、要求事項をカバーする一体型で、ISOのためだけの作業は発生させず、本来業務の中に取り込んで、審査に対応されています。

若手人材不足の昨今、同社でも人材確保のため大手求人情報専門サイトに登録、自社ホームページも作成されました。求人サイト担当者の指導の下、業務内容や、社員の働く姿などの写真を多数掲載されたところ、早速、地元理系大学の新卒見込み者から連絡があったそうです。面接では、「なぜ、当社を希望したのか」という一番の疑問でかつ興味があった志望動機について、「このご時世、通勤ラッシュにもまれて都市圏で働くよりも、地元で自分の力を発揮できる会社でがんばりたい」との言葉があったとのことで、この春から同社の一員として業務に邁進されています。5月病の心配も感じさせず、日々成長が見られる新入社員の姿に、先輩社員の期待は大きく、「当社で5年ぐらい経験をすれば、どこへ行っても通用する」と金の卵を大事に育てられています。前途有望な社員の方も新たに加わった同社のさらなる発展を期待します。

施工現場風景

現場での新入社員

https://senryu-densetsu.com/

連載よみもの 審査員の心理

第34回（環境編）

「コミュニケーション」

環境主任審査員 **大村 敏夫**
Toshio Omura

ISO14001では、外部コミュニケーション、特に苦情が発生した場合の対応が重要になります。近隣からの騒音・振動、臭気などの苦情が届くかもしれません。苦情が発生したら、どの部門で受け付けて、どのように対応するかの手順を決めておかなければなりません。苦情への対応については、発信者に説明して納得されたかどうかも記録されると良いでしょう。納得が得られなかったら、さらなる取組みが必要な課題となります。

外部コミュニケーションは、苦情のような有害な環境影響に関するものだけではありません。2004年版の規格では「著しい環境側面について外部コミュニケーションを行うかどうかを決定し、・・・」という、やや難解な要求事項がありました。ここでのコミュニケーションとは、規格の付属書A.4.3で、「年次報告書、ニュースレター、ウェブサイト及び地域での会合などがある。」と例示されているように情報公開のことでした。ISO14001:2015 “7.4.3 外部コミュニケーション”では「コミュニケーションプロセスによって確立したとおりに、かつ、順守義務による要求に従って、・・・外部コミュニケーションを行わなければならない」と表現は変わっていますが、「順守義務」の定義(3.2.9)中に「組織が順守することを選んだその他の要求事項」も含まれ、情報公開についても行うと決めたら順守義務になると解釈できます。情報公開の手段としてCSRレポートなどによる公表もありますが、ウェブサイトやSNSなどを活用しても良いでしょう。

EMSを運用している組織なら、なんらかの情報公開をされることが望まれます。SDGsは2030年をゴールとして策定された世界の目標です。脱炭素目標は、2030年に46％減（2013年度比）、2050年ゼロカーボン（カーボンニュートラル）を世界に約束しています。このような社会の動向も“利害関係者のニーズ・期待(4.2)”と付度し、組織としてどのように応えていくかを決定し、情報を発信することが望まれます。そのような意識を喚起することも、審査員に課せられた“利害関係者のニーズ・期待”と感じています。

審査員リレーエッセイ ⑮

From
奈良県奈良市
吉田 康夫
（よしだ　やすお）

Profile
専門分野：ISO 9001・ISO 14001－生保（販売管理）、商社（鋲螺製品・建設資材・物流）、コンサルティング（製造）
経　　歴：住友生命保険相互会社、ISOサポート事務所設立、インターテック審査員（現職）

審査員からのエッセイをお楽しみください。

「健康管理は散歩」

第一の人生：転勤9回/34年、第二の人生：ISO三昧/17年目。終の住処を奈良と定め健康管理は散歩。秋篠川に沿って40分の散歩コースでは、まず鑑真和上の唐招提寺があります。初めて見たとき、教科書の写真そのままの建物に不思議な感動を覚えました。そこから7-8分で薬師寺へ。2000年代に入り大講堂や食堂の再建、東塔や西塔の全面解体修理が行われ華やかさを感じます。食堂には50mに亘る大壁画が描かれ圧巻です。一時間以上の散歩コースでは広大な平城宮跡歴史公園へ。朱雀門、大極殿、遣唐使船（実物大）があり、さらに今年3月に大極門（南門）が復原しました。様々なイベントもあり、立派な観光・行楽スポットになりました。これらはすべて世界遺産、贅沢な散歩です。

連載「環境とISO 14001」⑮

「ビジネスと人権」

環境主任審査員　**郷古 宣昭** *Nobuaki Goko*

近年、特にコロナ感染拡大以後、事業活動における人権配慮が強く求められるようになりました。『人権』とは何か、いかに取り組むのか、それを知る手がかりとして最近の動向を紹介します。

■「国連憲章」と「世界人権宣言」

「**国際連合憲章**」は第2次大戦の惨禍から将来世代を救い、**基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び国家間の同権**の信念を確認する重要規定として1945年に策定されました。これが1948年の「**世界人権宣言**」に展開され、「**人間は生まれながら自由であり、かつ尊厳と権利について平等である**」とされ、人種・性別・言語・宗教による差別のない全ての者の人権と基本的自由を普遍的に尊重し、順守することが国連参加国の責任になりました。

その後、この宣言に基づく2つの規約と2つの選択議定書からなる「**国際人権規約**」が採択され、日本は、結社の自由・移動の自由・参政権等を含む「**自由権規約**」と、相当な生活水準・健康を享受する権利・労働基本権を含む「**社会権規約**」とを批准しました。

■ ビジネスと人権に関する指導原則

国連のアナン事務総長の命を受けたジョン・ラギー博士による企業と人権に関する調査報告「**ラギー・レポート**」が2008年に発表されました。その中で「**国家は人権を保護する義務**」があり、「**企業は人権を尊重する責任**」があり、「**被害者は法的及び非法的に救済されねばならぬ**」の3つの枠組みを明示しました。これは、2011年に「**国連ビジネスと人権に関する指導原則**」として決定され、2015年のG7、G20首脳会議で強く支持され、普及のための「ビジネスと人権に関する**国別行動計画**」の策定が決議されました。この指導原則は2014年国連人権理事会で取り上げられ、具体的で拘束力のある条約文書の策定作業が開始されました。

また、経済協力開発機構(OECD)は2011年に指導原則を「**OECD多国籍企業行動指針**」の中に取り込みました。

■ 人権デューデリジェンス

2020年6月に発表された前記条約文2次草案には、国境を超えたものを含む事業活動を行うすべての人々が「**人権デューデリジェンス**」を実施するべきことが記載されています。「**人権デューデリジェンス**」とはサプライチェーンの各段階での人権侵害リスクを調査・評価して予防措置を講じることですが、「人権侵害」自体が外部からは判り難く、労働環境や職場の人間関係を調べる必要があるので簡単なことではありません。それでも、サプライチェーン上での人権問題は消費者の不買運動や投資家の資金引き上げを招いて事業の継続を危うくするので、EUとEU各国は国連指導原則の条約化を待たずに人権デューデリジェンスの法制化を進めています。

付表　近年発生した主な人権侵害例

発生年	企業	人権侵害例
1997	アパレルメーカー	東南ア委託工場での過酷労働
2010	電子機器メーカー	中国委託工場での過酷労働
2013	アパレルメーカー	バングラディシュの不安全縫製工場
2014	小売/消費材メーカー	タイ海産物業者の奴隷労働
2015	アパレルメーカー	中国委託工場での過酷労働
2019	繊維産業	日本の工場で技能実習生に対する搾取労働・強制労働

出典：EY Japan　名越正貴氏の講演資料

■ 日本の取組みと今後の課題

日本政府は2020年10月に「**ビジネスと人権に関する行動計画**」を発表し、その中で、①「ビジネスと人権」に関する啓発活動を行い、理解と意識向上を図り、②「働き甲斐のある仕事」を推進し、ハラスメントや差別労働をなくすための法整備を進め、③人権デューデリジェンスについては「企業が積極的に導入することを期待する」としています。この中で、「働き甲斐のある仕事」に関する法令が「働き方改革」として矢継ぎ早に施行されていますので、社内制度の点検・見直しを急ぐ必要があります。人権デューデリジェンスについては、まずは原材料・部品のサプライチェーンを明確にして、コミュニケーションプロセスを築くことが重要です。海外の供給者については取扱商社やコンサルタントの協力を仰ぐことも有効でしょう。

近年発生した主な人権侵害の一例を付表に示しました。これ以外の事例も含めて企業はどのように対応したのかを知ることも重要です。

No.01 Letter

北海道でクリーンエネルギーの未来を創る

株式会社ヒロエナジー（ISO 9001:2015、ISO 14001:2015 認証登録）

本社　藤井 友喜

現場風景：安心の責任施工

当社は、平成27年、札幌市で設立されました。お客様の多様なご要望に応え、再生可能エネルギーである太陽光発電事業を通じて、市場のニーズを起点として、技術と知恵を駆使し、新しい価値を生み出すことに全力を尽くしています。

ISO9001/ISO14001を認証取得し、事業用地をご提供頂く地権者様、太陽光発電設備を販売させて頂くお客様への満足度向上を目指し、日々邁進しております。世界的にカーボンニュートラルが求められております今、環境・地方創生などのあらゆる観点からたくさんの方々に喜びと感動、安心を提供していきたいと考えております。当社としてもサステイナブルな社会を作るエネルギーカンパニーとして環境に責任を持ち、地域の方々と共に北海道から世界へと広がっていけるような活動ができると幸いです。

北海道標津（しべつ）にある自社保有の太陽光発電所

北海道で太陽光発電の導入を検討されている方には、どのような小さな疑問やご質問にも真摯にお応えし、設置できる土地や最適な太陽光発電施設の規模など、しっかりとご提案させていただきます。

▶ https://www.hiro-energy.com/

No.02 Letter

最新鋭製造ラインから、硬くて透明、おいしい氷

本田冷蔵株式会社（ISO 9001:2015、ISO 14001:2015、FSSC 22000 v5.1 認証登録）

総務部課長　花井 隆一

太子工場（兵庫県揖保郡）

本田冷蔵株式会社は、昭和29年、兵庫県姫路市網干区で、創業者の本田龍馬の実家、清酒「龍力」醸造元の酒造蔵を改造して創業しました。昭和43年、兵庫県揖保郡に太子工場を建設、昭和51年、姫路工場を建設しています。平成23年、ISO9001、14001（倉庫業務・通関業務・運送業務）を認証取得、太子工場では、平成27年にFSSC22000（氷雪製造業務）を認証取得しています。

太子工場の製造能力（日産）は、製氷113トン、袋詰氷132,000袋、プレート氷36,000袋、カップ氷50,000個、コップ氷300,000個にもなります。軟水で口当たりのよい水を用いて製造しました弊社の氷は、比類ない「天然水の氷」と自負致しております。洋酒・焼酎などお飲み物は勿論のこと、またお料理の引き立て役として、お客様にご満足いただける商品であると確信致しております。

アイス管から出た原氷

弊社の氷は、国内最大手コンビニ西日本地域のアイスコーヒーカップでも、皆様に親しまれています。

▶ http://www.honda-reizou.co.jp/

ちょっといっぷく

1週間（7日間）、虹（7色）、喜寿（77歳）、七味、七草粥、映画では007シリーズ、黒澤明監督の「七人の侍」、その他、G7、七転八起…など、身近なものから映画の世界まで、様々な場面に「7」を見かけます。今号は、77号にちなみ、“7”にまつわるお話を取り上げたいと思います。

7は、ラッキーセブンと呼ばれるように縁起のいい数といわれ、様々な場面で使用されますが、「ラッキーセブン」の由来は諸説あり、一般的に広くいわれているのが野球由来の説です。野球で7回は「ラッキーセブン」と呼ばれ、攻撃側のチャンスといわれますが、メジャーリーグでのある試合が関係しているといわれています。優勝がかかった大事な一戦の7回、バッターが打ち上げた平凡なフライが強風にあおられてホームランとなり、それが決め手となって優勝が決まりました。その幸運を「ラッキーセブンス（幸運な7回）」と称したことから、その後野球以外にも使用されるようになったそうですが、その背景に、元々「7」が特別な数字であるとする西洋の古くからの思想があったといわれています。

メジャーリーグでは7回裏に観客が一斉に立ち上がって伸び（ストレッチ）を行うそうです。日本のプロ野球でもラッキーセブンの7回に、チームの応援歌や傘によるパフォーマンス、風船などで球場が盛り上がりますが、コロナ禍の影響で各球団の名物応援も工夫を凝らしながらの演出に切り替わっているそうです。

また、日本では、福をもたらす7柱の神様「七福神」が有名です。これは、仏教経典の「七難即滅七福即生（七難をなくせば七福が生じる）」に由来し、一般的には、恵比寿・大黒天・福禄寿・毘沙門天・布袋・寿老人・弁財天とされています。

さて、2022年も半分が終了しましたが、今年は420年に一度の「壬寅・参宿」の年。地の暦（干支）が壬寅（みずのえとら）、天の暦（二十八宿）が参宿（しんしゅく）」です。二十八宿とは、太陽の通り道である黄道を4分割し、さらにそれぞれを7宿に等分したもの（4×7＝28）で、西洋占星術にも応用されています。2022年の参宿は、西方白虎の7番目にあたり、星座ではオリオン座の3つ星を指すとのこと。少しこじつけ感はありますが…オリオン座は7つの星で構成されていますので、2022年も7に囲まれたラッキーな年ということになりますね。

壬寅は、苦しい時期を超え、華々しい時代へ進み始めることを、参宿は、ポジティブに立ち向かう意味があるそうです。420年前の壬寅・参宿の年は、江戸幕府誕生の前年になります。大手生命保険会社が毎年募集している創作四字熟語の昨年の最優秀作品は、「七転八起（ななころなやおき）」でした。壬寅・参宿にあたる今年、ウィズコロナ時代を生き抜き、厳しい冬の時代から春・夏に向かってさらに進んでいけるよう心より願います。（参照・出典：パ・リーグ.com、ニッセイ基礎研究所、家庭画報.com、住友生命HP）

Information on training courses

研修コースのご案内

開催日程・開催地等、研修に関する詳細は弊社ホームページにてご確認ください。（https://ba.intertek-jpn.com/study/）

審査員養成コース

審査員養成コースは、審査員を目指される方だけでなく、最近では企業様から、品質管理体制の改善や、内部監査員のさらなるスキルアップを目指してご参加いただくことが増えております。業務改善や力量向上を目指している皆様のご参加をお待ちしております。

- ISO9001（5日間）/ISO14001（3日間）/ISO45001（3日間）

※ISO 14001/45001の3日間コースは受講要件がございます。詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

開催地 東京（弊社東京事務所）

日　程
- ISO 9001・・・10/7（金）～11（火）
- ISO14001・・・11/12（土）～14（月）
- ISO45001・・・12/9（金）～11（日）

JGAP審査員研修（青果物・穀物）

日本GAP協会認定研修。本研修の修了はJGAP審査員補登録要件の一つで、JGAP審査員への最初のステップです。

開催地 東京（弊社東京事務所）

日　程 8/23（火）～25（木）

SDGsセミナー／オンライン

～お客様から“選ばれる”企業になるために！～

SDGs各目標に起因するリスクと機会、ISO 14001を活用した対応について解説します。

日　程 9/27（火）、12/22（木）

＊弊社ホームページよりお申込みいただけます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からのお便り

ISO9001：2015 内部監査員養成一日コース（オンライン）を受講して

品質内部監査員養成コース（2022年3月オンライン）受講

日本ボールドウィン株式会社
生産統括部長　加納 千夏子

弊社では「品質の向上、新製品の開発、常に満足いただける製品とサービスの提供」を掲げ、日々事業活動を展開しています。

内部監査員としての業務内容を理解するため、また知識を深めるために受講しましたが、オンラインセミナーだったので感染対策や移動もなく安心して受講できました。事前配付の資料に目を通すことにより心構えができ、チャットや投票機能を使ってのケーススタディを通じて要求事項に適合しているかの評価手順、手法を学びました。

今回学んだ内容を実際の活動へ展開し、QCDレベルの向上による顧客満足、新規顧客獲得、会社の利益につなげていけるようにISOを活用した取り組みの推進に努めていきます。

インターテック・サーティフィケーション株式会社　https://ba.intertek-jpn.com/
東京事務所　〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋ノーススクエア　TEL：(03)3669-7408 FAX：(03)3669-7410 E-mail：info.ba-japan@intertek.com
大阪事務所　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F　TEL：(06)6150-0571 FAX：(06)6150-0575 E-mail：info.ba-osaka@intertek.com